

磐城時報

編輯人 田中弘成
印刷所 磐城印刷局
電話 二五五
代印所 磐城印刷局
電話 二五五
廣告料 一行十文字五錢
印刷料 一行十文字五錢
日刊 (日曜日) 休刊

成功の見込つく

有志出縣して陳情

縣議古川傳一氏談

鮫川疏水は石城郡小名濱町・植田町外四ヶ村約六百八十町歩に亘る灌漑用水を充たすのみならず小名濱築港と共に開港に寄港する船舶に供給する水源にも必要なので、これが復活は多年關係町村民を始め縣當局に於ても痛感して来たのであるが前後二回の失敗並びに例の鮫川電氣の問題になやまされて、これが復電力の發金は會社設立するに於て容易に着手し得ぬ状態に於かれてゐたが今回關係町村長は古川縣議を始め石城郡選出縣會議員の應援を得て二十一日出縣陳情したが本問題に關し縣會議員古川傳一氏は語る「抑も鮫川疏水は明治三十二年總工費二十萬七千圓の巨資を投じて工事に着手し前後三ヶ年間の日子を費して工を終りたるも設計の當を得ぬため通水不能になつてしまつたので關係町村(鮫川堰普通水利組合員)にては此の工事費の負擔について問題を起してその解決困難なるものがあるが明治四十四年代議士星一氏の盡力によつて勸業銀行より借入れたる工費總額

列車逃走犯人

小名濱町で捕はる

巧みに野菜賣りに化け

警戒線を突破す

郡山から平町に護送中列車の窓をこじ開けた事を知り追跡し同町神明から逃走した窃盜被疑者前科三下地内で格闘の末逮捕した。犯人は内直次(三九)の行衛について人は列車から飛び降りた後編のては平署に於て去る十八日以来半天、ズボン、ゴム靴、帽子を五日間毎日四十名内外の警官を窃取した後山越えに内郷村に至る各村に派し青年團、消防組員等二十二日朝野菜行商の天秤並に出動捜索中二十二日午前七時頃背負ひ籠を窃取して野菜屋に内郷村に於て入山四坑佐藤覺變裝し小名濱に赴いたもので、太郎、綴請願佐藤政之助兩巡査花袋所持し居り之を持つて小六千圓は勸業銀行に於て債券が犯人らしい男が小名濱方面に名濱町で一仕事をなし高飛びし

平町會

平町會は二十二日午前十時から平町役場に召集し平町第三小學校敷地について縣に認可方を申請してゐた件の縣諮問に對する答申並に特別稅戶數割隨時賦課の件について協議した。

俄然秋刀魚初漁

十三萬尾漁獲

石城七濱活氣づく

秋刀魚期が近づいて来たので石城各濱では過般來出漁の準備中である事既報の如くで小名濱町水産試験場磐城丸は修理を終え次第漁區調査のため出帆する筈であるが、二十一日千葉縣音濱の漁船が北海道沖合に於て秋刀魚十三萬尾を漁獲した旨入電したので石城各濱一帯は俄かに活氣づき本月下旬か十月初旬に一齊に出漁する事になつた。

町村委員金の

町村委員金の

警城銀行に公金を預金してゐる十九ヶ町村の委員金は廿一日平町に開き協議の結果同行の白井一郎、草野順平兩氏に面會し整理内容を聴取る事になつた。

教員庭球大會

石城郡南部第二區小學校長會主催で

情夫矢吹某に

金三千圓を要求

四軒町の美人髮結

夫への申譯料として

平町四軒町髮結水野フヨ(二哩を始め遂に平警察署の厄介に六)は夫を持つ身であり乍ら美なつた事既報の如くであるが、造業失吹清定(三三)を情夫に持たせ夫への申譯料として金三千圓を要求し問着を起してゐるといふ噂は時々耳にする事であつたが、去る十五日午後四時頃水野方でフヨの夫並に情夫が大喧嘩に對して水野家への賣掛代金千五百圓を棒引きにした事もあつたといふので尙更興味を唆つてゐる。

漆畑氏

再び來平

法律事務に従事

平法曹界の長老辯護士漆畑元吉氏は過般病氣に罹り郷里靜岡市に歸省して専ら療養につとめたのを發見した。

俺の公開狀

警銀は俺らに對して、擁護してくれとか、好意を持つてくれとか、自らうなじを垂れて哀願するが如き氣持もあるまいし、そうした素振りも無い俺は前述の心的經濟から自發的に警銀に好意を寄せたものでない、俺の氣持は單に好意を寄せるためだけの氣持ではない、進んで擁護しなければならぬ氣持になつたのだ、其處には脈々として血のうなりがあつた、弱き者に強き味方たれと俺の心には幾度かこの叫びで血の流れにもかすかな

こふした氣持から警銀を擁護し、好意を持つ事は警銀では或は、迷惑を感じてゐるかも知れない、或はいいおせつかいだとも考へてゐるかも知れない、然し俺の氣持は自由な以上、俺は兎に角さうした氣持の儘に動かなければ俺の血は凝結するばかりだ、血のうなりを俺は尊重せねばならぬ、俺は三十五になるが俺の血はまだ若い、綺麗だ。

俺は人情や、道義や、恩義にはもろい、金に依つて俺は支配されたくない、金よりも人情が先だし、道義や恩義も思はれたくない、警銀には恩義は無い、然れども、非人間な非道徳な行為は此の際やりにたたくために擁護するが如き記事はトチモ書けるものではない、況んや過去に於ける警銀と俺のいきさつから言つて見ても金銀關係に依つて忽然として擁護する事は到底人間として出来ぬ所なのだ、其處には何等のわだかまりがない、唯俺の氣持、俺の血のうなりが自由に、唯に遠慮するところなく駆け巡つたまでだ。

(つづく)

盗賊

盗賊

平町前カフエスナージ高橋定次方に十九日午前二時頃一名の怪漢忍び込み現金三十圓、價格百圓の金刺懐中時計一個入り手提金庫を窃取した上悠々と食を喰らひビール及びブドウ酒を飲み過ぎた事判明平署に急報したので平署で犯人嚴探中であるが、右手提金庫は平町新川町鈴木自動車部前に棄て、あつたのを發見した。

鯉釣大會

鯉釣大會

神谷村上片寄片寄寄吉方では来る二十六日から三日間鯉釣大會を催す筈で釣料は初日一圓五十錢、二日目一圓、三日目五十錢であるとステージに

